

令和 8 年第 3 回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

	(頁)
1 諸般の報告	2
2 付託案件	9

令和 8 年 9 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

1 諸般の報告

(1) 観光誘客の促進

① IBARAKI PASSPORT の制作

ア 内容

- ・ 絶景、花、体験コンテンツ、海、花火などの観光情報のほか、歴史、文化、食、データから見る茨城の魅力などを掲載
- ・ 県内全 44 市町村を巡るスタンプラリー

イ 発行部数

10,000 部 (B7、カラー、44 ページ)

ウ 交付方法

- 申請期間：令和 8 年 9 月 14 日（月）～25 日（金）

※いばらき電子申請・届出サービスから申請
応募多数の場合は、抽選を実施

- 交付期間・窓口

- ・ 令和 8 年 10 月 10 日（土）～12 日（月）シン・いばらきメシ
総選挙 2026
- ・ 令和 8 年 10 月 13 日（火）～
茨城県庁、東京渉外局



IBARAKI PASSPORT イメージ

② 茨城空港の状況

ア 令和 8 年度旅客数について

令和 8 年 4 月から 8 月までの茨城空港の旅客数は、中東情勢に伴う原油高の影響による国際線の運休・減便の影響を受け、前年度同時期比 5.3% 減の約 32 万 6 千人。

【R 7 と R 8 の旅客数の比較（4 月～8 月）】※速報値 （単位：人）

年度	R 7	R 8	R 8 / R 7 比
国内線	307, 231	318, 825	+ 3. 8%
国際線	36, 834	7, 099	▲80. 7%
合 計	344, 065	325, 924	▲5. 3%

イ 国内線定期便の運航

空港運用時間の拡大に伴い、10 月 25 日より、神戸便が 1 日 3 往復から 4 往復に増便し、福岡便が 1 日 2 往復に戻ることににより、過去最多の 1 日 10 往復が運航予定。

路線名	運航計画
札幌便（新千歳）	3 往復/日
神戸便	4 往復/日
福岡便	2 往復/日 ※ 6 月 19 日～10 月 24 日は 1 往復/日
那覇便	1 往復/日 ※福岡乗継で 1 往路/日
長崎便	2 往復 + 1 復路/日 ※神戸乗継
鹿児島便	2 往復/日 ※神戸乗継
宮古便（下地島）	2 往復/日 ※神戸又は那覇乗継

ウ 国際線定期便の運航

韓国の清州便（定期便）については、9 月 1 日より運航再開。

路線名（航空会社）	運航計画
チョンジュ 清州便（エアロ K）	3 往復/週（火・木・土） ※ 4 月 9 日～8 月 29 日は運休 <u>9 月 1 日～運航再開</u>
ソウル（ ^{インチョン} 仁川）便 （エアロ K）	※ 8 月 3 日～運休中

エ 国内線チャーター便の運航

フジドリームエアラインズ（F D A）により、チャーター便の運航を予定。

＜ 9 月～10 月の運航予定＞

運航件数：4 件

運 航 地：松山、隠岐、名古屋（小牧）、富山

オ 国際線チャーター便の運航

韓国の航空会社「エアプサン」による「茨城－釜山」路線のインバウンド向け連続チャーター便が、10 月 3 日から 12 日まで計 4 往復で運航予定。

「茨城－釜山」路線の運航及びエアプサンによる茨城空港への乗り入れは、開港以来初めて。

＜「茨城－釜山」連続チャーター便の概要＞

航空会社：エアプサン

発着空港：茨城－釜山（金^キ海^メ国際空港）

運航形態：連続チャーター便 ※インバウンドチャーター

運航便数：4 往復（10 月 3 日（土）、6 日（火）、9 日（金）、12 日（月））

機 材：A321 型機（220 席）

運航ダイヤ

釜山発	茨城着	茨城発	釜山着
13:55	→ 16:00	17:30	→ 20:00

（２）プロモーションの展開

① 「AI 茨ひより」の新たな展開

これまで各種イベントで活用してきた「AI 茨ひより」について、インターネットを介して誰でも利用できるシステムの構築を進めており、その一環として、8 月の 1 か月間、試験的に県内ホテルのフロントに設置し、対話型での地域情報等の発信を実施。

【試験設置の概要】

- ・ 期 間：令和 8 年 8 月 1 日（土）～31 日（月） 1 か月間
- ・ 設置施設：大洗ホテル、大子温泉やみぞホテル、ホテル・ザ・ウエストヒルズ水戸、ホテル テラス ザ ガーデン水戸、水戸京成ホテル
- ・ 特 徴：インターネット接続が可能なパソコン・スマートフォンなどから複数のユーザーが同時にアクセス可能
- ・ 利用実績：650 件（飲食店・ご当地グルメ・お土産に関する質問など）
[施設側の声] 地域情報の新たな発信手法になり得る
[利用者の声] 予想していた以上に自然な会話を楽しめた
- ・ 今後の予定：試験設置期間中の会話データ等を分析し、プログラムの一部修正を図った上で、年度内を目途に一般公開を予定



「AI 茨ひより」利用画面

② 動画・SNS を活用した魅力発信

県公式 YouTube チャンネル「いばキラ TV」については、先月 8 月末時点でメインチャンネル登録者数が 19 万 7 千人となり、都道府県公式 YouTube チャンネルの登録者数として全国最多となった。

今後も引き続き、影響力のあるクリエイターや知的財産を効果的に活用しながら、動画や SNS を通じた本県の魅力発信に努めていく。

【いばキラ TV の概要】（令和 8 年 8 月末時点）

- ・ 開設：平成 24 年 10 月 1 日（14 年目）
- ・ 動画視聴回数（累計）：約 5 億回
- ・ 都道府県公式 YouTube メインチャンネル登録者数
 - ① 茨城県 19.7 万人 ② 東京都 19.4 万人 ③ 群馬県 7.5 万人
 - ④ 岩手県 7.3 万人 ⑤ 神奈川県 5.8 万人



県内クラブチームとのコラボ



3,000 万回超再生の
クリエイターコラボ

(3) ブランド化・販売促進の取組

① 「恵水」のPR

ア 「幻の恵水」プロジェクト

県と産地とが一丸となり、1万果に1果と言われる希少な「幻の恵水」の栽培に挑戦するプロジェクトを実施。

【販売価格(2026年)】※それぞれの店舗において9月上旬より販売

- ・京橋千疋屋 京橋本店、アトレ恵比寿店：各1玉 10,800円
- ・高島屋 日本橋店：5,800円、玉川店：6,480円（各1玉）

イ 「恵水」の販売促進

- 浅草における恵水の出張販売
 - ・期 間：令和8年8月26日（水）～27日（木）
 - ・内 容：キッチンカーを活用したカット恵水等の販売など
 - ・メディア露出：11件
- 県内外での恵水スイーツフェアの開催
 - ・期 間：令和8年8月31日（月）～9月20日（日）
 - ・開催店：果汁工房果琳、キルフェボン等8社28店舗



京橋千疋屋にて1玉10,800円で販売される「幻の恵水」



キルフェボンにて販売される「茨城県産 和梨“恵水”のタルト」

② 「栗」のPR

ア スイーツガーデンSAPPORO 2026でのPR

「笠間の栗モンブランコレクション supported by IBARAKI」としてブースを構え、札幌市内の有名スイーツ等6店舗による、笠間の栗を使用したモンブランを販売。

- ・期 間：令和8年8月20日（木）～8月23日（日）
- ・会 場：札幌市北3条広場（北海道庁赤れんが庁舎前）
- ・結 果：笠間の栗を使用したモンブラン6種類（各店舗1種類）を販売し、1日限定200個が最短1時間で完売。

イ 関西ホテルでの茨城フェアの開催

- ・期 間：令和8年9月1日（火）～11月30日（月）
- ・会 場：ホテル日航大阪
- ・メニュー：プレミアムモンブラン、栗拾いアフタヌーンセットなど

ウ 笠間マロンコレクションの開催

県内の菓子店のモンブラン、和菓子、菓子パンなど笠間の栗を使用したスイーツを一堂に集めてPR販売を実施。

○ ルミネ池袋

- ・期 間：令和8年9月25日（金）～9月28日（月）
- ・出店数：16店舗

○ 大阪・阪急うめだ本店

- ・期 間：令和8年10月7日（水）～10月13日（火）
- ・出店数：9店舗



笠間マロンコレクション商品



日航大阪アフタヌーンセット

③ 欧州（スペイン・フランス）での知事トップセールス

本県産の農産物や酒類、加工食品などの販路開拓及び拡大と、本県への誘客促進のため、令和8年7月5日（日）～10日（金）に知事が欧州を訪問。

ア 在スペイン日本国大使公邸におけるプロモーション・商談会

- ・ 知事自らが、本県の食と観光の魅力をPRするとともに商談を実施。
- ・ 現地食品卸・飲食店シェフなど40名が参加。本県産のコメを使ったパエリアや寿司等の提供、本県産の酒類の試飲を実施することで、県産品の認知向上を図った。

イ 個別商談の実施

場 所：マドリード及びバルセロナ（スペイン）、パリ（フランス）
相手方：現地日系食品輸入商社、日本食レストラン、食品販売ECサイト等
成 果：コメや常陸牛などの農産物に加え、酒類や冷凍焼き芋などの加工食品を幅広く提案し、コメ及び酒類については、既に新規の成約を実現。

ウ メディアカンファレンスの実施

場 所：パリ（フランス）
相手方：現地メディア、旅行会社等
成 果：常陸国ロングトレイルやサイクリングなどの自然体験型のコンテンツや伝統文化、食といった本県ならではの魅力を発信し、認知向上に寄与。



スペイン大使公邸での県産米を使用したパエリアの試食会



スペイン・バルセロナでの商談の様子



メディアカンファレンスの様子

令和 8 年 9 月 1 日 開 会

①

令和 8 年第 3 回茨城県議会定例会議案

茨 城 県

第93号議案

令和 8 年度 茨城県一般会計補正予算（第 2 号）

令和 8 年度茨城県一般会計の補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ11,467,181千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1,372,223,550千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第 2 条 地方自治法（昭和22年法律第67号）第213条第 1 項の規定により、翌年度に繰り越して使用することができる経費は、「第 2 表 繰越明許費」による。

（債務負担行為の補正）

第 3 条 債務負担行為の補正は、「第 3 表 債務負担行為補正」による。

（地方債の補正）

第 4 条 地方債の補正は、「第 4 表 地方債補正」による。

令和 8 年 9 月 1 日提出

茨城県知事 大井川 和彦

歳 出

款	項	補 正 前 の 額	補 正 額	計
4 生 活 環 境 費		19,258,413 ^{千円}	6,208 ^{千円}	19,264,621 ^{千円}
	2 環 境 保 全 費	17,412,634	6,208	17,418,842
7 福 祉 費		95,779,502	666,216	96,445,718
	4 長 寿 福 祉 費	4,187,290	666,216	4,853,506
9 農 林 水 産 業 費		44,072,766	377,164	44,449,930
	1 農 業 費	13,869,587	71,709	13,941,296
	2 畜 産 業 費	2,785,569	8,589	2,794,158
	4 水 産 業 費	4,395,575	296,866	4,692,441
10 営 業 戦 略 費		7,252,023	189,029	7,441,052
	2 誘 客 ・ 販 路 拡 大 推 進 費	4,176,641	182,029	4,358,670
	3 国 際 ビジネス推進費	1,951,141	7,000	1,958,141
12 商 工 費		92,723,839	566,722	93,290,561
	1 産 業 政 策 費	86,091,162	491,729	86,582,891
	2 技 術 振 興 費	3,183,642	60,000	3,243,642
	3 中 小 企 業 費	3,449,035	14,993	3,464,028
13 土 木 費		100,617,222	3,170,912	103,788,134
	2 道 路 橋 梁 費	62,209,569	1,422,174	63,631,743
	3 河 川 海 岸 費	19,697,678	1,467,108	21,164,786
	4 港 湾 費	5,117,357	166,500	5,283,857
	5 都 市 計 画 費	4,902,433	64,000	4,966,433
	6 住 宅 費	4,059,142	51,130	4,110,272
15 教 育 費		322,460,506	6,490,930	328,951,436
	1 教 育 総 務 費	73,174,384	6,490,930	79,665,314
歳 出 合 計		1,360,756,369	11,467,181	1,372,223,550

報告第 3 号

地方自治法第179条第 1 項の規定に基づく専決処分について

別記 4 件のとおり専決処分したので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第179条第 3 項の規定に基づき、報告する。
原案承認されたい。

令和 8 年 9 月 1 日提出

茨城県知事 大井川 和彦

別記 3

和解について

空港対策課所属の小型乗用自動車の運行に係る交通事故について、下記のとおり和解するものとする。

記

1 和解の相手方

- (1) 個人
- (2) 個人

2 和解の内容

- (1) 令和 6 年 7 月 4 日（木）午前 9 時 23 分頃、水戸市笠原町 1517 番地の 2 地先県道上で発生した事故
- (2) 事故の概要

空港対策課所属の職員が、小型乗用自動車を運転して出張途中、上記県道において、相手方の軽乗用自動車に追突し、損害を与えた。

- (3) 茨城県が支払う損害賠償額 1,577,332 円

（注）上記賠償額は、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社から支払われるものである。

上記については、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであるので、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 179 条第 1 項の規定に基づき、専決処分する。

令和 8 年 7 月 17 日

茨城県知事 大井川 和彦

令和 8 年第 3 回定例会
営業戦略農林水産委員会資料

	(頁)
1 【諸般の報告】 観光誘客の促進について	2
2 【諸般の報告】 令和 7 年度フィルムコミッション 活動実績について	5
3 【付 託 案 件】	
いばらき県産品海外オンライン販路開拓支援事業	6
GREEN×EXPO 2027 いばらき誘客促進事業	8

令和 8 年 9 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

営業戦略部観光戦略課

項 目	観光誘客の促進について			
1 令和7年観光客動態調査結果（暦年集計）				
令和7年の入込客数（延べ人数）は6,258万人（対前年比101.3％）、観光消費額は4,482億円（対前年比100.8％：過去最高額）となった。				
（1）観光客の入込状況				
ア 入込客数（延べ人数）				
R 5 年	R 6 年	R 7 年	R7/R6年比 R7/R5年比	
6,106万人	6,180万人	6,258万人	101.3％ 102.5％	
※県内の観光地点及び行祭事・イベントの入込客数を単純合計した総数。				
イ 入込客数（実人数）				
区 分	R 5 年	R 6 年	R 7 年	R7/R6年比 R7/R5年比
実人数	3,430万人回	3,777万人回	3,406万人回	90.2％ 99.3％
うち宿泊	598万人回	678万人回	615万人回	90.7％ 102.8％
うち日帰り	2,833万人回	3,099万人回	2,791万人回	90.1％ 98.5％
※観光地点（行祭事・イベントを除く）を訪れた実際の入込客の人数。				
※1人の観光客が1回の旅行で複数の観光地点を訪れた場合でも1人回とする。				
（2）観光消費額				
R 5 年	R 6 年	R 7 年	R7/R6年比 R7/R5年比	
3,576億円	4,447億円	4,482億円	100.8％ 125.3％	
※入込客数（実人数）×1人当たり消費単価により算出。				
2 TVアニメ「薬屋のひとりごと」とコラボしたプロモーションの実施状況				
本県観光イメージの形成やブランディングの推進に向けた取組として、令和7年度に引き続き、TVアニメ『薬屋のひとりごと（※）』を活用したプロモーションを実施。				
○TVアニメ『薬屋のひとりごと』とコラボした新たなキービジュアル、ブランディングサイト、コラボムービーを公開中（7月27日（月）～）				



○県内観光地4カ所を巡り、キャラクターと一緒に写真が撮れるARフォトスポット企画「猫猫・壬氏と夏巡り」を開催中

- ・期 間：令和8年8月8日（土）～9月30日（水）
- ・場 所：①水府物産センター（常陸太田市）
②グランテラス筑西（筑西市）
③大洗町観光情報交流センター うみまちテラス（大洗町）
④あみ観光物産館 ami colle!（阿見町）

○ARフォトスポットに併せ、国営ひたち海浜公園のネモフィラモチーフの描き下ろしイラストを使用したオリジナルグッズを発売中

- ・場 所：水府物産センター（常陸太田市）
あみ観光物産館 ami colle!（阿見町）
- ・商品名：アクリルコースター 全2種（各 税込660円）
ポストカード（税込220円）
A4クリアファイル（税込550円）

【※参考】TVアニメ『薬屋のひとりごと』について

- ・架空の中華風帝国を舞台に薬師（くすし）の猫猫（マオマオ）が様々な難事件を解決していく謎解きエンターテインメント。
- ・2023年～2024年に第一期、2025年に第二期が日本テレビ系列で放送され、続編となる第三期が2026年10月に放映開始、シリーズ初となる劇場版が同年12月公開予定。
- ・各種動画配信サイトにて国内外で配信されており、台湾や韓国、中国でも視聴ランキングトップ10に入るほか、北米最大のアニメコンベンション「Anime Expo2025」では出演声優が登壇するイベントに現地ファン2,000人が参加する等、幅広い国と地域で人気を博している。
- ・国内では「TikTok上半期トレンド大賞2025」で大賞とマンガ・アニメ部門をダブル受賞する等、注目度の高い作品。

3 IBARAKI CAMP AUTUMN FESTA 2026の開催

本県の観光資源のひとつであるアウトドアをテーマとした誘客促進を図るため、キャンプイベントを開催し、本県の魅力をPRする。

【開催概要】

日 時：令和8年10月24日（土）・25日（日）

場 所：涸沼自然公園キャンプ場（茨城町）

内 容：飲食・体験・物販等のブース出店（約110事業者）、限定キャンプ泊プランの提供等

項 目	令和7年度フィルムコミッション活動実績について		
1 令和7年度フィルムコミッション活動実績			
(1) ロケ支援実績			
項目	令和6年度	令和7年度	対前年度比
ロケ支援作品数	513作品	582作品	13.5%増（69作品増）
ロケ延べ日数	1,074日	1,168日	8.8%増（94日増）
(2) 経済波及効果			
項目	令和6年度	令和7年度	対前年度比
経済波及効果 推計額	約5.5億円	約9.5億円	72.7%増（約4.0億円増）
(3) 主な支援作品			
○映画			
・「ゴールデンカムイ 網走監獄襲撃編」 【ロケ地】民家園（かすみがうら市）			
・「免許返納!」 【ロケ地】東海駅（東海村）			
・「あの星が降る丘で、君とまた出会いたい。」 【ロケ地】旧北浦三育中学校（行方市） など			
○ドラマ			
・「能面検事」（テレビ東京） 【ロケ地】茨城県庁、三の丸庁舎（水戸市） など			
・「じゃあ、あんたが作ってみろよ」（TBS） 【ロケ地】かみねレジャーランド（日立市） など			
・「仮面ライダーゼッツ」（テレビ朝日） 【ロケ地】七ツ洞公園（水戸市）、イーエス中央運動公園（古河市）、 （株）JERA 鹿島火力発電所（神栖市） など			

主要事業等の概要（案）

営業戦略部県産品販売課

事業名又は議案の 名 称	いばらき県産品海外オンライン販路開拓支援事業【新規】																																										
1 予 算 額	7, 0 0 0 千円																																										
2 現況・課題	経済のグローバル化や人口減少に伴う国内市場の縮小に加え、物価高の影響を受けている県内食品関連事業者に対し、多角的な収益基盤の確立と持続的な成長の実現のため、海外市場での販路開拓を図る取組が求められている。																																										
3 必要性・ねらい	海外ではコロナ禍を機に食品 E C 市場が拡大しており、特に欧州では北米等他エリアと比較して高い市場伸び率で推移しているなど、重要な海外販路の一つとなっている。 一方、購入前に実際の商品を確認することができないことや、ユーザーに認知されていない商品は売れにくい等、E C 市場特有の課題があることから、ユーザーの購入意欲を喚起する取組を実施することで、初回購入のハードルを下げ、県産品の認知向上、販路開拓、販売拡大及び定着化を図る。																																										
4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)	【事業概要】 ○欧州の日本食品 E C サイト上で県産品フェアを実施（計 2 回） ・期間中は、各商品を数量限定の割引（2 ～ 3 割）価格で販売 ・実施時期：11 月中旬～12 月下旬、2 月上旬～3 月中旬 （県産品のみを集約した特設ページを設けて告知） ○各種媒体を組み合わせ、訴求の幅と質を高めた広告を展開 ・顧客情報に基づくダイレクトメール ・サイトトップページへの特設ページバナー設置 ・ターゲティング広告（SNS や検索サイト等）																																										
5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)	○物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金活用 ○2023-28 年の食品 E C 市場年平均成長率(予測含む) 欧州：約 11.5% 北米：約 9.8% （出典:Europe Online Grocery Market Report 2023-28） ○県産農産物・加工食品の年間輸出額の推移（単位・百万円） <table><tr><th colspan="2">品 目</th><th>令和 6 年度</th><th>令和 7 年度</th><th>前年度増減</th></tr><tr><td colspan="2">農産物</td><td>3, 177</td><td>4, 813</td><td>+52%</td></tr><tr><td rowspan="3">内 訳</td><td>青果物等</td><td>982</td><td>1, 579</td><td>+61%</td></tr><tr><td>米</td><td>979</td><td>1, 143</td><td>+17%</td></tr><tr><td>畜産物</td><td>1, 216</td><td>2, 091</td><td>+72%</td></tr><tr><td colspan="2">加工食品</td><td>6, 339</td><td>7, 313</td><td>+15%</td></tr><tr><td rowspan="2">内 訳</td><td>一般加工食品</td><td>4, 165</td><td>4, 774</td><td>+15%</td></tr><tr><td>水産加工食品</td><td>2, 174</td><td>2, 539</td><td>+17%</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>9, 516</td><td>12, 126</td><td>+27%</td></tr></table> ※県事業等通じて関与及び支援した事業者などへの聞き取り調査結果	品 目		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度増減	農産物		3, 177	4, 813	+52%	内 訳	青果物等	982	1, 579	+61%	米	979	1, 143	+17%	畜産物	1, 216	2, 091	+72%	加工食品		6, 339	7, 313	+15%	内 訳	一般加工食品	4, 165	4, 774	+15%	水産加工食品	2, 174	2, 539	+17%	合 計		9, 516	12, 126	+27%
品 目		令和 6 年度	令和 7 年度	前年度増減																																							
農産物		3, 177	4, 813	+52%																																							
内 訳	青果物等	982	1, 579	+61%																																							
	米	979	1, 143	+17%																																							
	畜産物	1, 216	2, 091	+72%																																							
加工食品		6, 339	7, 313	+15%																																							
内 訳	一般加工食品	4, 165	4, 774	+15%																																							
	水産加工食品	2, 174	2, 539	+17%																																							
合 計		9, 516	12, 126	+27%																																							

【R8.9月補正予算額 7百万円】

営業戦略部県産品販売課畜産物・米G（029-301-3965）

物価高の影響を受けている県内食品関連事業者の、多角的な収益基盤の確立と持続的な成長の実現を図るため、欧州における日本食品ECサイトでの県産品の認知向上、販路開拓、販売拡大及び定着化に向けた取組を支援します。

○欧州の日本食品ECサイト上で県産品フェアを実施（計2回）

- ・ 期間中は、各商品を数量限定の割引（2～3割）価格で販売することで初回購入のハードルを下げ、各商品の認知向上、販路開拓、販売拡大及び定着化を支援
- ・ 実施時期：11月中旬～12月下旬、2月上旬～3月中旬
（県産品のみを集約した特設ページを設けて告知）

○各種媒体を組み合わせ、訴求の幅と質の両方を高めた広告を展開

- ・ 顧客情報に基づくダイレクトメール
- ・ サイトトップページへの特設ページバナー設置
- ・ ターゲティング広告（SNSや検索サイト等）



主要事業等の概要（案）

営業戦略部観光戦略課

議案の名称	GREEN×EXPO 2027 いばらき誘客促進事業【新規】																		
1 予算額	182,029千円																		
2 現況・課題	令和7年観光客動態調査の結果、本県の観光消費額は過去最高の4,482億円となった。更なる観光消費額拡大のためには、観光消費単価の高い宿泊客の増加や観光地の周遊促進が効果的であり、大規模イベント等の機会を活用し、効率的に本県への誘客を図る必要がある。																		
3 必要性・ねらい	2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）を活用した本県への誘客を促進するため、同博覧会への出展と連動した県内宿泊・観光施設の割引キャンペーンや都内での大規模プロモーション等の展開による誘客促進に取り組み、観光消費の拡大を図る。																		
4 内 容	1 「花絶景いばらき！花博旅割」の実施（147百万円） ○国際園芸博覧会予約者に対する宿泊施設や観光施設の割引を実施 ・宿泊施設割：補助率3/10、補助上限額3千円/回 ・観光施設割：補助率1/2、補助上限額1千円/回 ○国際園芸博覧会会場と県内観光地を繋ぐ周遊企画を実施 2 人気アニメ等コンテンツとコラボした観光・誘客プロモーション（35百万円） ○首都圏公共交通機関の各種広告媒体等の活用 ○アニメ等コンテンツのイベントに観光PRブースを設置 ・オリジナルコラボグッズや、本県伝統工芸品等との限定コラボ製品を販売																		
5 参考事項	○2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）の概要 ・開催場所：神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設の一部） ・開催期間：2027年3月19日（金）～9月26日（日）（192日間） ・参加者数（見込）：1,500万人（有料来場者数：1,000万人以上） ・開催者：公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 ○観光客動態調査（茨城県）結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>単位</th><th>2023年</th><th>2024年</th><th>2025年</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>観光消費額</td><td>億円</td><td>3,576</td><td>4,447</td><td>4,482</td></tr> <tr> <td>観光地点等入込客数（延べ人数）</td><td>万人</td><td>6,106</td><td>6,180</td><td>6,258</td></tr> </tbody> </table>				項目	単位	2023年	2024年	2025年	観光消費額	億円	3,576	4,447	4,482	観光地点等入込客数（延べ人数）	万人	6,106	6,180	6,258
項目	単位	2023年	2024年	2025年															
観光消費額	億円	3,576	4,447	4,482															
観光地点等入込客数（延べ人数）	万人	6,106	6,180	6,258															



【R8.9月補正予算額 182百万円】

営業戦略部観光戦略課観光戦略G（029-301-3617）

観光基盤G（029-301-3622）

GREEN×EXPO 2027（国際園芸博覧会：2027年3月から開催）を活用した本県への誘客を促進するため、同博覧会への出展と連動した本県宿泊・観光施設の割引キャンペーンや都内大規模プロモーション等の展開による誘客促進に取り組み、観光消費の拡大を図ります。

1 「花絶景いばらき！花博旅割」の実施（147百万円）

○国際園芸博覧会予約者に対する宿泊施設や観光施設の割引を実施

- ・宿泊施設割：補助率3/10、補助上限額3千円/回
- ・観光施設割：補助率1/2、補助上限額1千円/回

○国際園芸博覧会会場と県内観光地を繋ぐ周遊企画を実施



2 人気IPコンテンツとコラボした観光・誘客プロモーション（35百万円）

○首都圏公共交通機関の各種広告媒体等の活用

○IPコンテンツを活用したイベントに観光PRブースを設置

- ・オリジナルコラボグッズや、本県伝統工芸品等との限定コラボ製品を販売



令和 8 年第 3 回定例会 営業戦略農林水産委員会資料
県出資法人 事業実績・事業計画の概要

(頁)

- 1 公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構 …… 2

令和 8 年 9 月 1 5 日
営 業 戦 略 部

県出資法人 事業実績・事業計画の概要

営業戦略部販売戦略課

1 出資法人の概要

① 法人の名称	公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構																										
② 所在地	茨城県水戸市桜川二丁目2-35																										
③ 設立年月日	令和2年4月1日																										
④ 代表者名	理事長 清水 充																										
⑤ 基本財産	38,000千円																										
⑥ 設立根拠	一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第44条																										
⑦ 設立目的・経緯	県内中小企業の海外展開、経営革新及び創業の促進や経営基盤の強化に関する事業を行い、もって茨城県の産業の振興に寄与する。 （令和2年4月1日に一般財団法人として設立 同年7月1日公益財団法人化 同年8月1日茨城県中小企業振興公社を吸収合併）																										
⑧ 組織	役職員数	理事 11 人	監事 2 人 常勤職員 21 人																								
	<組織図> 理事長 — 専務理事 — 常務理事兼事務局長 — 総務企画課（3名）※課長含む（副知事）（公募採用）（県OB） 事務局長次長 — グローバル展開一課（7名）※課長含む、うち1名ジェトロ出向中〔農産物・加工品〕 — グローバル展開二課（10名）※課長含む、うち1名金融機関派遣〔工業製品〕																										
⑨ 出資状況	38,000 千円（茨城県が全額出資）																										
⑩ 資産状況 (令和8年3月末現在)	(単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>金 額</th> <th>摘 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流動資産</td> <td>299,824</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td>7,851,132</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資産合計</td> <td>8,150,956</td> <td></td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td>254,263</td> <td></td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td>6,228,378</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負債合計</td> <td>6,482,641</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正味財産</td> <td>1,668,314</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				金 額	摘 要	流動資産	299,824		固定資産	7,851,132		資産合計	8,150,956		流動負債	254,263		固定負債	6,228,378		負債合計	6,482,641		正味財産	1,668,314	
	金 額	摘 要																									
流動資産	299,824																										
固定資産	7,851,132																										
資産合計	8,150,956																										
流動負債	254,263																										
固定負債	6,228,378																										
負債合計	6,482,641																										
正味財産	1,668,314																										

2 令和7年度事業実績

(1) 事業内容

ア いばらきグローバルビジネス推進事業

食品分野の中小企業等の海外展開を促進するため、海外展開推進員による支援や展示商談会を実施した。

- ・海外での販路開拓支援：成約222件、年間取引額684,990千円
- ・展示商談会への出展支援：5回
- ・貿易、投資相談件数：78件

イ ものづくり海外展開推進事業

ものづくり企業の海外展開を支援するため、大規模展示会への共同出展支援のほか、マッチング企業の掘り起こしや戦略策定等の伴走支援を実施した。

- ・海外での販路開拓支援：成約19件、年間取引額444,012千円
- ・展示商談会への出展支援：3回
- ・貿易、投資相談件数：8件

ウ いばらきチャレンジ基金事業

本県産業を持続的に発展させるため、中小企業が行う新技術・新製品開発や海外販路開拓の取組を支援した。

- ・新技術・新製品開発促進事業（複数年型）：5件
- ・新技術・新製品開発促進事業（単年度型）：6件
- ・海外販路開拓促進事業：32件

エ 中小企業エキスパート派遣事業

中小企業等が抱える経営・技術等の課題に対して、専門家（中小企業診断士、管理技術、設計技術等の専門家）を派遣して課題解決を支援した。

- ・専門家（エキスパート）の派遣日数：603日（派遣案件：80件）

オ よろず支援拠点事業

機構内に「茨城県よろず支援拠点」を設置し、経営相談に対して総合的な支援を行うとともに、関係機関との連携による研修会や各種セミナーを開催した。

- ・相談対応件数：14,856件
- ・ミニセミナー・相談会等の開催：35回

カ ものづくり産業マッチング支援事業※県内産業支援機関に外部委託

中小企業の受注機会の拡大を図るため、取引のあっせんや商談会等を実施した。

- ・あっせん件数：705件、成立件数：86件（年間受注金額：809,294千円）

キ 中小企業情報発信事業

国、県等の中小企業支援策等の情報提供を行ったほか、受発注情報等の発信、自社のPR等を支援するオンライン上の「茨城県企業データベース」の活用促進を図った。

- ・茨城県企業データベースの登録件数：1,966件
- ・相談窓口での企業・支援機関、支援施策等に関する情報提供：347件

(2) 収支状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
基本財産運用益	43	
受取補助金等	652,697	
受取負担金	7,151	
その他の収入	23,551	
経常収益計①	683,442	
事業費	594,941	
管理費	76,114	
経常費用計②	671,055	
当期経常増減額③ (①-②)	12,387	
経常外収益計④	0	
経常外費用計⑤	0	
当期経常外増減額⑥ (④-⑤)	0	
法人税等⑦	0	
当期一般正味財産増減額 (当期利益)⑧ (③+⑥-⑦)	12,387	
正味財産期首残高⑨	1,655,985	
当期指定正味財産増減額 ⑩	△58	
正味財産期末残高⑪ (⑧+⑨+⑩)	1,668,314	

※端数処理の関係で内訳と合計等が一致しない場合がある。

(3) 補助金等の受入状況

(単位：千円)

	金 額	摘 要
出 資 金	0	
補 助 金	331,384	県補助金
受 託 金	150,983	県受託金
貸 付 金	0	
損失補償限度額 年度末残高	0	

3 令和8年度事業計画

(1) 事業内容

ア いばらきグローバルビジネス推進事業

海外展開にチャレンジする食品分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援、展示商談会への出展、海外展開に関する相談対応や海外展開セミナー等の実施により総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（3人）
- ・展示商談会への出展支援（4回程度）
- ・貿易投資相談（随時）
- ・海外展開セミナーの開催（4回）

イ ものづくり海外展開推進事業

海外展開にチャレンジするものづくり分野の中小企業に対し、海外展開推進員による伴走支援や大規模展示商談会県ブースへの共同出展、海外展開の普及啓発セミナーの実施等により総合的に支援する。

- ・海外展開推進員の配置（4人）
- ・海外展示会への出展（4回程度）
- ・海外展示会向け販促ツール作成支援（24社程度）
- ・海外展開に関する問い合わせや相談対応（随時）

ウ いばらきチャレンジ基金事業

本県産業を持続的に発展させるため、中小企業が行う海外販路開拓の取組や新技術・新製品開発を支援する。

- ・海外販路開拓促進事業 : 31件程度
- ・外国語ウェブサイト制作事業 : 15件程度
- ・国際認証取得事業 : 4件程度
- ・新技術・新製品開発促進事業（単年度型）: 8件程度
- ・新技術・新製品開発促進事業（複数年型）: 3件程度

エ 中小企業エキスパート派遣事業

中小企業等が抱える経営・技術等の課題に対して、専門家（中小企業診断士、管理技術、設計技術等の専門家）を派遣して課題解決を支援する。

- ・専門家（エキスパート）の派遣日数（640日）

オ よろず支援拠点事業

「茨城県よろず支援拠点」を機構内に設置し、中小企業者等の経営相談に対してワンストップで対応するとともに、支援機関・専門家等の連携体制の強化、能力向上を図る。さらに、様々な事業環境の変化に中小企業者等が対応できるように、従来の「ワンストップ相談窓口」に新たに開設する「生産性向上支援センター」を加えた2つの相談窓口を設置する。

①ワンストップ相談窓口

- ・コーディネーター等の配置（35人）
- ・支援機関・専門家等との連携体制の強化
（連携フォーラム（1回）、連携パートナー研修会（1回））
- ・ミニセミナー及び個別相談の開催（30回）

②生産性向上支援センター

- ・サポーター等の配置（10人）
- ・支援機関連携会議の開催（1回）
- ・生産性向上のセミナー・スクール等の開催（5回）

カ ものづくり産業マッチング支援事業 ※県内産業支援機関に外部委託

受発注情報の収集と取引のあっせんを実施するとともに、県内外の発注企業及び県内

進出企業からの情報収集を継続的に実施することにより、発注企業のニーズ把握や発注案件の開拓を行う。

- ・広域商談会の開催（１回）
- ・取引紹介あっせん（随時）
- ・受発注取引促進のための調査及び情報収集（３回）

（２）収支計画

（単位：千円）

	金 額	摘 要
基 本 財 産 運 用 益	37	
受 取 負 担 金	7,429	
受 取 補 助 金 等	783,219	
事 業 収 益	0	
そ の 他 の 収 入	52,681	
経 常 収 益 計 ①	843,366	
事 業 費	744,266	
管 理 費	92,679	
経 常 費 用 計 ②	836,945	
当 期 経 常 増 減 額 ③ (①－②)	6,421	
経 常 外 収 益 計 ④	0	
経 常 外 費 用 計 ⑤	0	
当 期 経 常 外 増 減 額 ⑥ (④－⑤)	0	
法 人 税 等 ⑦	0	
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 (当 期 利 益) ⑧ (③＋⑥－⑦)	6,421	
正 味 財 産 期 首 残 高 ⑨	1,661,542	
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額 ⑩	△22,120	
正 味 財 産 期 末 残 高 ⑪ (⑧＋⑨＋⑩)	1,645,843	

（３）補助金等の受入予定

（単位：千円）

	金 額	摘 要
出 資 金	0	
補 助 金	348,767	県補助金
受 託 金	161,095	県受託金
貸 付 金	0	
損 失 補 償 限 度 額 年 度 末 残 高	0	